

広報

おおの

3

もっと大野が 好きになる

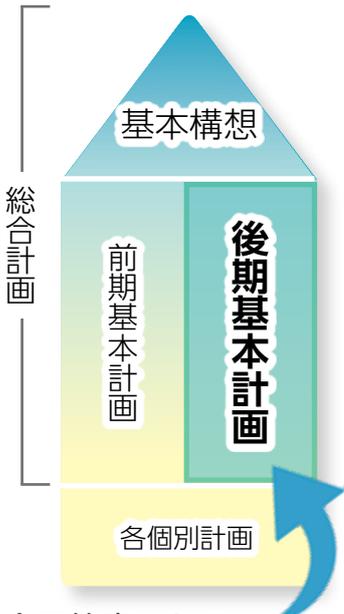
2026 No.969



特集 第六次大野市総合計画

後期基本計画を策定

図 政策推進課 (☎64・4824)



今回策定したのは
ここ!

向を示しています。

後期基本計画とは
第六次大野市総合計画は、基本構想(10年間)と基本計画(5年間)により構成されています。後期基本計画(令和8年度~12年度)は、目指すまちの将来像「人がつながり地域がつながる 住み続けたい結のまち」の実現に向けて、前期基本計画の進捗状況や新たな課題などを整理し、これからの施策の方

後期基本計画とは

総合計画とは
総合計画は、大野市をどのようなまちにしていけるのか、そのためにどのような取り組みを進めていくのかを総合的にまとめた「まちづくりの道しるべ」です。市民や団体、企業、市などが一体となってまちづくりを進めていく、市の最上位の計画です。



生かしました。

後期基本計画は、市民や各分野の有識者、学識経験者に市職員も加わり、みんなで話し合いを重ねて策定しました。
また、市民・中高生アンケートや地区別意見交換会、パブリックコメントなどを行い、市民の皆さんの思いやアイデアを集め、現状と課題の整理、施策の検討に生かしました。

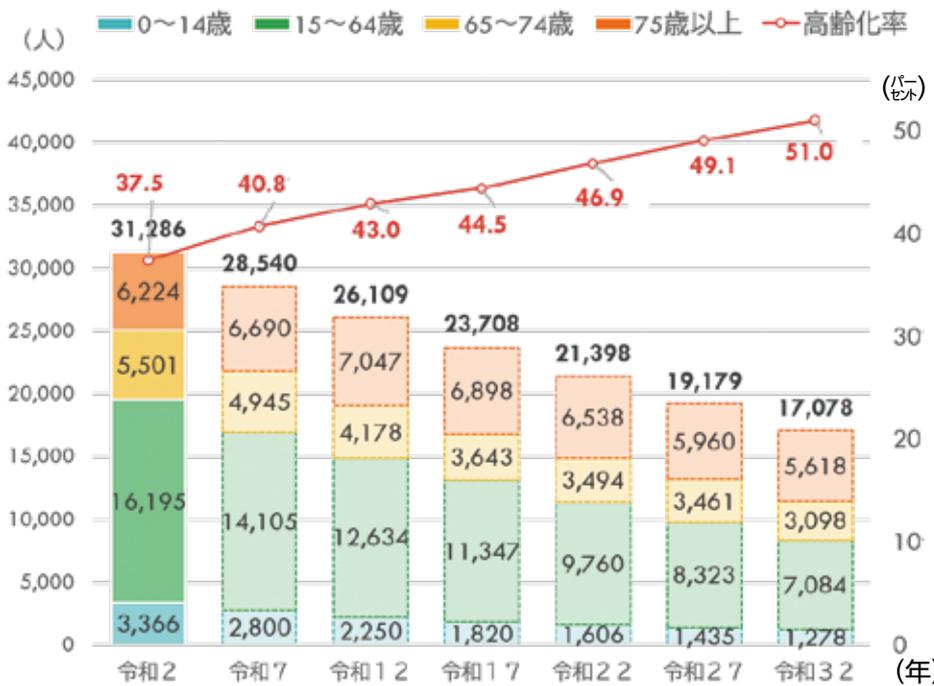
総合計画とは

みんなが手作りで策定

人口の推移と見通し

後期基本計画の策定に併せて、本市の将来人口の見通しを示す大野市人口ビジョンの改訂も行いました。
本市の人口は、令和2年に3万1286人であり、後期基本計画の最終年となる令和12年には約2万6000

人、令和32年には約1万7000人まで減少すると予測されています。
人口減少が進む中であっても大野らしさのある地域づくりを進めていくことを念頭に置き、計画の検討を行いました。



【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

市民の幸福度

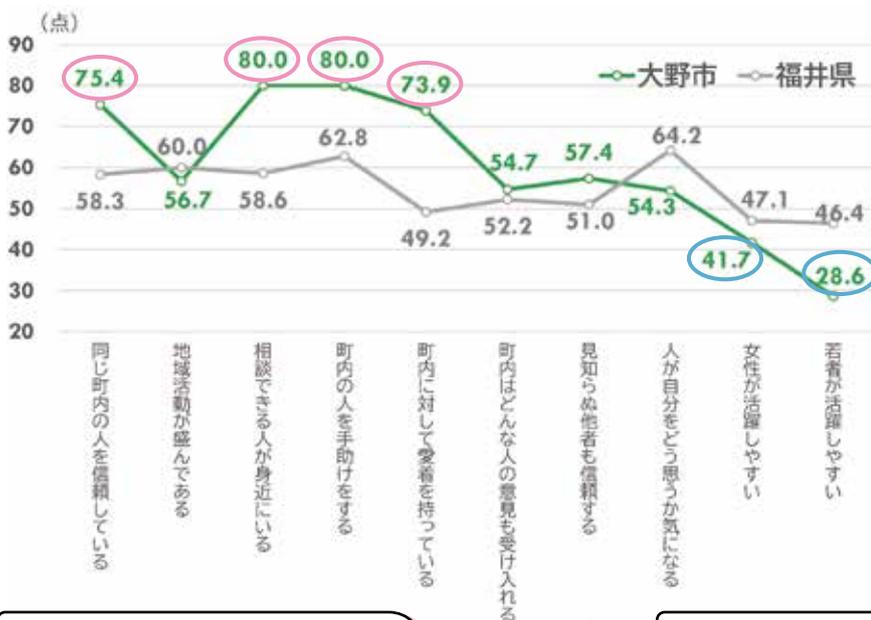


令和6年9月に行った市民・中高生アンケートでは、市民の幸福度や暮らしの満足度を測る「ウェルビーイング指標」に関する問いを設けました。

後期基本計画では、さまざまな分野におけるデータ利活用の取り組みを進め、その一つとして、ウェルビーイングを測る調査を継続して行いながら、施策の改善や新たな施策の展開につなげていくことを目指しています。

令和6年度版 Well-Being 個別調査の結果

幸福度・生活満足度を11段階で回答



地域の人間関係に関する結果からは、本市は県全体に比べて、町内での信頼感や町内への愛着などが高く、地域のつながりや助け合いが強いことが表れています。

一方で、女性や若者の挑戦のしやすさは、県全体に比べて低く、女性や若者をはじめ誰もがもっとイキイキと暮らせる環境が求められています。

後期基本計画をより詳しく

後期基本計画は、3月下旬からホームページのほか、市役所や図書館、公民館などで閲覧できます。



▲詳しくはこちら

出前講座を行います

市民の皆さんと思いを共有し、みんなでまちづくりを進めていくために総合計画の出前講座を行います。市職員が出向き、まちづくりについて分かりやすく解説します。自治会や団体・グループなどの活動で利用してください。
 圃 政策推進課 (☎64・4824)

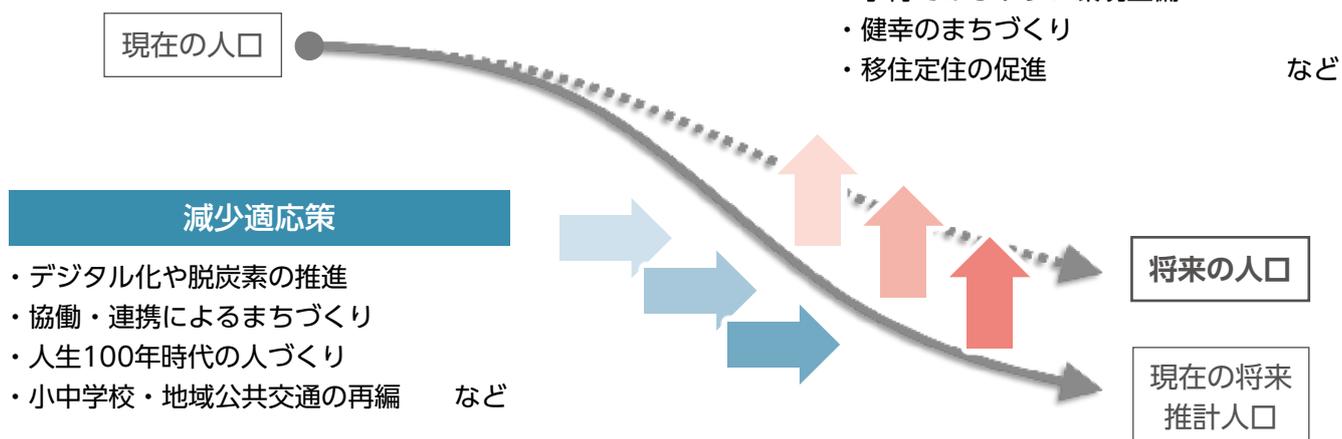


人口減少対策の視点

人口減少対策は、

維持増加策と減少適応策

両面から **総合的** に進めることが必要



後期基本計画で新たに取り入れる視点

後期基本計画では、①ウェルビーイングの向上、②ジェンダーギャップの緩和、③シェアリングエコノミーの推進を、計画全体を貫く新たな視点として取り入れ、施策を展開していきます。

ウェルビーイングの向上

ウェルビーイングとは、個人や社会のよい状態、心身ともに満たされた状態を指す言葉です。ウェルビーイングを測る指標を、市民の幸福度や暮らしの満足度を測る物差しとして組み入れ、住み続けたいまちづくり、イキイキと暮らせるまちづくりの進捗を把握し、施策の改善や新たな施策の展開につなげていきます。

シェアリングエコノミーの推進

シェアリングエコノミーとは、個人や企業などが持つモノや場所、スキルなどの資源を、必要な人に提供したり、共有したりする新しい経済の仕組みです。

住民による共助型の移動支援、家庭で余っている食品を寄付し食品ロスを削減するフードドライブの取り組み、副業の推進などが挙げられます。

人口が減少する中、限られた資源を有効に活用するとともに、資源の共有や助け合いを通じた人と人との関わりを創出し、持続可能なまちづくりにつなげていきます。

ジェンダーギャップの緩和

ジェンダーギャップの緩和とは、男女の性別によって生じる格差をなくしていくことです。性別による格差や無意識の思い込みなどは、地方から女性や若者が流出する要因の一つとして挙げられています。

多様な考え方や特性の違いを尊重しながら取り組みを進め、女性や若者をはじめ、誰もがもっとイキイキと暮らすことができるまちづくりにつなげていきます。

SDGsの推進

SDGsとは、長期的な国際目標として国連で採択された持続可能な開発目標です。総合計画に掲げる施策とSDGsの目標を関連付け、多様な主体が連携して施策を展開することでSDGsを推進し、持続可能なまちを目指します。

総合計画審議会の委員さんに聞きました



イラストレーター
木村有希さん



税理士法人勤務
畑允子さん



自営業
金原陽子さん



泉町在住
合田昌範さん

Interview

後期基本計画の策定に向けて、審議会や策定幹事会に公募委員として参加してきた4人の声を紹介します。



後期基本計画に期待すること

合…「自然環境・脱炭素」に期待したいです。大野の豊かな自然に対して市全体でどのように取り組んでいくのか気になりますし、取り組み方次第では、それが大野の強みや他の自治体との差別化につながると思います。

畑…「働く環境」の取り組みに期待したいです。中学生や高校生が「大野の産業にはこんな魅力があるのか、こんな働き方ができるのか」といった「将来大野で働く自分」をイキイキと想像できる機会がたくさん生まれてほしいです。

木…「移住定住」の取り組みに期待したいです。特に、大

野で一人暮らしをしたい、お試して住んでみたいという人に向けた支援が充実してほしいと思います。金銭面や精神面などの不安を取り除いてもらうために、気軽に住めたり相談できたりする環境整備に期待したいです。

自分が取り組みたいこと

畑…大野の中学生や高校生と地元企業が交流できる場をつくることを目指しています。協力してプロジェクトを進めたり、キャリアについて話し合ったりする場をつくりたいと考えています。

木…毎月発行している『月刊のー』という便りを引き続き制作し、「大野にはこんな一面があるんだよ」とこんな人がいるんだよ」といった情報を多くの人に広めていきたいです。また、モノづくりに興味がある市内外の人たちと一緒に、大野をフィールドとして活動していきたいです。

皆さんに取組んでほしいこと

畑…まずは「より大野を知る」ということです。市内のイベントに参加したり、広報紙を読んだり、できることはたくさんあると思います。大野が今どういう状況なのかを知って、自分ができることを見つけてほしいです。

合…後期基本計画の中に「これは共感できるな、これは自分に当てはまるな」と感じる部分を見つけてほしいと思います。小さな一歩かもしれませんが、皆さんで踏み出せば大きな一歩になると思います。

金…「基本的視点」に「ウェルビーイングの向上」があるのとおり、まずは自分を幸せにしてあげてほしいです。そして余裕のある人が、身の回りにいる一人二人に手を差し伸べてもらえれば、その連鎖が全体の幸せにつながっていくと思います。

新たな視点に対して思うこと

畑…ジェンダーギャップ、ウェルビーイング、シェアリングエコノミーと、どれ

も多岐にわたる概念で、これらを基本的視点として掲げたことは良かったと思います。今後はこの言葉が市民の皆さんに浸透していくまで言い続け、掲げ続けることが大切だと思います。

金…どれも大野で幸せに暮らすために生かせる視点だと思います。ジェンダーギャップをはじめとしたさまざまな固定概念にとらわれず、一人一人の幸せを考え行動することがウェルビーイングにつながると思っています。その行動の一つとしてモノやコトのシェアがあると、より一層豊かさにつながると思います。

木…分かりづらいと思うかもしれませんが、どれも必要な視点だと感じます。一方で、自分の暮らしの中では実感を持っていない人もいるのではないのでしょうか。市が現状を示し、具体的な取り組みに注目させることで市民の皆さんの理解が進むと思います。



後期基本計画の体系とみんなができること



後期基本計画では、基本目標分野に沿って24項目64の施策を推進していきます。また、全ての項目で、市民や団体、企業などがまちづくりを身近に感じて取り組めるよう、「みんなができること」を設けています。

みんなができること



項目	施策の柱
こども	1 子育て ニーズに応じた保育・子育てサービスの充実 家庭や職場、地域における子育て環境の整備 若者支援と情報発信
	2 学び 探究と協働による学びの推進 安心して学び楽しめる場の充実 地域と一体となった体験・学びの推進

- ・パートナーと協力して子育てや家事を行いましょう 
- ・登下校の見守り活動に取り組みましょう
- ・学校行事に協力しましょう 

項目	施策の柱
健康福祉	3 健康・医療 健康づくりと予防への参加促進 地域医療体制の確保と新たな健康課題への対応
	4 地域福祉 地域が主体の福祉の推進 高齢者・障がい者の生活支援の充実 地域で支える福祉・医療・介護体制の構築
	5 スポーツ 「する、みる、ささえる、しる」スポーツの推進 競技力向上の促進 快適なスポーツ環境の提供

- ・健診(検診)を受診し、疾病の早期発見と健康維持に取り組みましょう 
- ・障がいや認知症について学習し、正しく理解しましょう
- ・健康のために毎日歩きましょう 

項目	施策の柱
地域経済	6 農業 農業者の育成と支援 農地の維持と継承 農林水産物の魅力向上と販売支援
	7 林業 森林の適正管理の推進 林業従事者の確保と育成 林産物の生産と環境整備の推進
	9 商工業 事業者の稼ぐ力の向上と創業・事業承継の支援 道の駅の魅力向上とまちなかの賑わい創出
	10 働く環境 多様な人材の雇用促進 人材育成の支援と働く環境の向上 企業誘致と働く場の創出

- ・農山村が持つ魅力を感じ、緑豊かな風景を守りましょう 
- ・国産材や県産材で作られた木製品を利用しましょう 
- ・大野産の食材を使った料理を発信しましょう
- ・地元でお気に入りの商品や観光資源を見つけ、SNSで発信しましょう 
- ・休暇が取りやすい職場環境づくりに取り組みましょう 

くらし環境

11	自然環境・脱炭素	脱炭素化の推進
		ごみ減量化・資源化の促進
		環境保全活動と公害対策の推進
12	水環境	安全で持続可能な水資源の確保
		環境教育の推進と水文化の継承
		汚水処理施設の整備・最適化と普及の促進
13	生活環境	生活サービス機能の維持と良好な景観の形成
		安全で快適な住宅環境の確保
		安全で持続可能な生活インフラの確保
14	消防・減災	災害対応体制の強化と迅速な初動対応
		災害対応力の向上と避難・支援体制の整備
		治水対策とインフラの強化
15	道路	安全で快適な道路環境の整備
		広域道路ネットワークの整備
16	交通・移動	移動手段の確保・維持
		公共交通の利便性の向上と利用促進

- ・フードドライブに参加するなど食品ロスの削減に取り組みましょう 
- ・小まめに水を止めるなど、節水を心がけましょう 
- ・ハザードマップで安全な場所や危険な場所を確認しましょう 
- ・地域の美化活動に参加し、景観づくりに取り組みましょう 
- ・敷地内の草木が道路にはみ出さないよう適切に管理しましょう
- ・JR越美北線やバスなどの公共交通を利用しましょう 

地域づくり

17	ひと・地域	市民協働による住民自治の促進
		市民の学びと交流の場づくり
		多様性の尊重と多文化共生の促進
18	防災力・防犯力	地域防災力の強化と担い手の育成
		雪・火災・空き家への備えと対応
		暮らしの安全確保と被害の防止
19	文化	文化活動の促進
		文化財の保存と活用によるまちづくり
20	移住定住	移住定住の情報発信と支援の強化
		住まいの確保と充実を支援

- ・地域の活動に積極的に参加しましょう 
- ・災害に備え地域で協力し合える関係をつくりましょう 
- ・空き家を適正に管理しましょう 
- ・文化に触れる機会に参加しましょう 
- ・子どもたちに大野の魅力を伝えましょう 

行政経営

21	情報共有	市民向け広報の充実と情報発信力の強化
		市民参加の促進と施策への反映
		地域の魅力の発信強化
22	協働・連携	多様な主体との協働・連携の創出
		地域間交流の促進
23	市民サービス	行政手続のオンライン化推進とデジタル利用支援
		マイナンバーカードを活用した行政サービスの充実 公共料金・税のデジタル利用促進
24	行財政	持続可能な行政経営と財源の確保
		行政のデジタル化と業務効率の向上
		職員力と組織力の強化

- ・広報おおのを毎月読んで、大野のことを知りましょう 
- ・市外の友人や知人に大野の魅力を伝えましょう 
- ・交流を希望する学生や生徒と積極的に交流しましょう 
- ・オンライン申請やキャッシュレス決済など、新しいサービスを使いましょう 

「越前おおの地域応援商品券」を配布

市では、物価高騰への対策と市内経済の活性化を目的として、市内の登録店で利用できる「越前おおの地域応援商品券」を配布します。

健康長寿課(65歳以上の人)
産業政策課(64・4816)
(65・7333)

商品券の内容

- 2月1日時点で
- 65歳未満の人…Aセット(1000円券×10枚)
- 65歳以上の人…Bセット(1000円券×15枚)

内訳

- ・全店共通券(市内の全登録店で使用可)…Aセット6枚、Bセット11枚
- ・小規模店専用券(市内の登録小規模店で使用可)…Aセット、Bセットともに4枚

対象者 令和8年2月1日時点で本市に住民登録がある人



▲詳しくはこちら

利用までの流れ

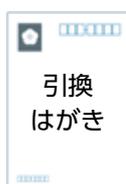
- ①引換はがきを3月上旬から各家庭に郵送します ※はがきの再発行はできません
- ②引換はがきを次の場所で商品券と交換してください
- ③対象店舗で利用してください



大野商工会議所
ショッピングモールVio

市内の郵便局 ※簡易郵便局(六呂師高原、大野大橋)を除く

引き換え期間 3月16日～5月31日



利用期間 3月16日～8月31日



結ステーション駐車場有料化の本格運用開始

令和7年4月1日から実施している、越前おおの結ステーション駐車場有料化の試験運用を踏まえ、令和8年度以降の駐車料金を決定しました。

設定料金の根拠など詳しくはこちら▶



■ 運用開始日 4月1日(日)

■ 有料化の経緯

中部縦貫自動車道の県内全線開通に伴い、駐車場利用者の増加が見込まれます。商店街やまちなかを訪れる市民や観光客が快適に利用できるよう、目的外の長時間駐車を抑制し、駐車スペースを確保することを目的として試験運用を開始しました。

■ 有料化の効果

4時間以上の駐車が7割から1割まで減少しました。また料金体系について、利用者の85割が「安い」または「適当」と回答し、「有料化の影響がある」と回答した駐車場周辺の実業者は10割程度にとどまりました。

図 観光交流課 (64・4817)

■ 料金体系

種別	区分	料金	備考
普通自動車など	入庫～30分	無料	
	30分～2時間	100円	平日
		200円	土、日、祝日
	2時間～	1時間ごと100円	
	24時間	500円	24時間～1時間ごと100円
バス	入庫～30分	無料	
	30分～2時間	1000円	
	2時間～	1時間ごと500円	
	24時間	5000円	24時間～1時間ごと500円

若者同士のつながりで「思い」を実現

ええねんかいわい 結リンク～大野で永年界限～

「若者が気軽に集まり、交流できる場所がほしい」。そんな声から生まれた若者グループ「結リンク」の活動を紹介します。

結リンクとは？

昨年度策定した「大野市こども・若者計画」の実現に向けて、令和7年7月に結成された若者団体です。若い人たちが、住む地域や働く業種を超えてつながれる場所や機会を創出するために活動しています。メンバーがさまざまなアイデアを出し、思いを実現できるよう市が支援しています。

グループ名の由来

大野の「結の心」を大切に、人と人とのつながり(リンク)を広げ、長く住み続けられる(永年)地域にしたいといったメンバーの思いが込められています。

これまでの歩み



令和7年度は計5回のミーティングを重ねました。和やかな雰囲気の中でメンバー同士が打ち解けながら、グループワークや意見発表を通して若者の交流拡大につながる機会の創出に向けて検討しました。

若者交流企画の第1弾として、令和8年度にスターランドさかだにを会場として、星空などの自然体験と、食事やゲームによる交流を掛け合わせたイベントを実施したいという案がまとまりました。

メンバー構成

区分	協力事業所・団体名など(計：男女20人)
子育て世代にやさしい企業	(株)芦見屋、(福)いなやま保育園 認定こども園いなほこども園、越前信用金庫、(株)エツミ光学、(福)大野和光園、(福)恩賜財団福井県済生会聖和園、(株)西行土木、忠南環境(株)、(福)廣瀬福祉会 亀山こども園
その他団体や個人	(公社)大野青年会議所、市地域おこし協力隊、市役所

結リンク メンバーの声



(福)廣瀬福祉会
亀山こども園勤務
砂子怜菜さん

最初は少し堅苦しい場なのかなと思っていましたが、意見交換するうちに「こんな考え方もあるんだ」と気づき楽しかったです。人と話をするのが好きなので、職場とは違った環境で気分転換できる良い機会になりました。

これまで出た意見を形にしていくのは簡単ではないですが、来年度も少しずつ前に進んでいきたいです。若い世代が楽しく暮らしているということが、大野の魅力伝える一番の材料になると思います。結リンクの活動が、そのきっかけになってくれたら嬉しいです。

メンバー募集

令和8年度の活動に参加してもらえる新規メンバーを募集します。交流イベントの開催を目指して一緒に取り組みませんか。

対象 応募時点の年齢が18～35歳で市内在住か市内で働いている人

募集人数 若干名(先着)

応募方法 氏名、住所、電話番号を添えて、件名に「結リンク参加希望」と記載してメールで応募する

応募締切 定員に達し次第

☎ こども支援課 (☎64・5140)

✉ 電子メール kodomo@city.fukui-ono.lg.jp

19、20歳の学生の「子ども医療費受給資格」

市では、0歳から18歳の子どもに加え、市内から県内の大学や専門学校などに通う20歳までの学生を対象に、医療費の助成を行っています。

このうち、**19、20歳の人は毎年申請が必要です**。忘れずに申請してください。

助成内容 県内の医療機関で受診した時に、保険証などと一緒に「子ども医療費受給資格証」を提示すると、医療費が無料になります。

※予防接種費用や入院時の差額ベッド代など、健康保険が適用されない医療費は助成対象外

※県外で受診した場合は、後日、市に申請してください。医療費を登録口座へ振り込みます

申請対象者 次の条件に全て当てはまる人

- ① 市内在住で、平成18年4月2日～平成20年4月1日生まれ
- ② ひとり親家庭等医療など、他の医療費助成を受けていない
- ③ 県内にある下表の対象学校に市内から通学している

申請方法 専用フォームで申請する
申請に必要なもの ・対象者の加入医療保険が分かるもの（資格情報のお知らせ）や「資格確認書」、マイナンバーからダウンロードした

学校区分	課程など
高等学校	全ての課程
中等教育学校	後期課程(中高一貫の高等部)
特別支援学校	高等部
高等専門学校	1～5年生(専攻科を除く)
専修学校	高等課程
	専門課程(いわゆる専門学校) ※看護師、理容美容師、調理師、製菓衛生師課程などを含む
大学	全ての課程

対象の学校一覧や申請方法など詳しくはこちら▶



「資格情報画面」など）
 ・対象者の学生証か在学証明書
 ・保護者名義の通帳など、振込先が分かるもの(登録済みの口座に変更がなければ不要)

受付期間 4月1日(日)～5月29日(金)

受給資格者証 受給資格が認定された人に対して、随時、受給資格者証を郵送します

助成対象期限 令和9年3月31日(日)

☎ こども支援課
 (64・5533)

こども誰でも通園制度を開始します

全ての子どもたちの成長を応援し、安心して過ごせる環境を整えるため、「こども誰でも通園制度」を開始します。

「こども誰でも通園制度」って？

保育所や認定こども園などに通っていない0歳6カ月から満3歳未満の児童が、月10時間まで保育所や認定こども園を利用できます。

利用料金 1時間当たり300円

※食事の提供や制作活動の実施により、副食費や実費がかかります

※一時預かり事業(別事業)については、第2子以降について利用料が免除されます

実施場所 ・上庄こども園
 ・誓念寺中野こども園

メリット

◆子どもにとって

家庭とは異なる経験や年齢の近い子どもとの関わりを通じて、子どもの興味や関心が広がり、社会性が育まれます。

◆保護者にとって

専門的な知識や技術を持つ人との関わりによって、孤立感や不安感の解消につながります。

利用までの流れ

① 利用認定申請をする

こども誰でも通園制度総合支援システムから申請してください。市の認定が完了するとアカウントが発行されます(認定まで2週間程度かかります)

② 面談を受ける

利用希望施設と面談を行ってください

③ 利用予約をする

こども誰でも通園制度総合支援システムから予約してください

④ 利用する



▲申請や予約はこちら

☎ こども支援課 (64・5140)





病後児保育を再開します



こんな時に利用してください

- ・登園前に熱はないが、子どもの体調が悪そうなので、普段どおり通園させるのが心配
 - ・感染症にかかった後、園の出席停止期間は経過したが、病み上がりで普段どおり通園させるのが心配
- ※利用の際には医師の診断が必要です

対象児童

保育所や認定こども園、学校での集団生活が難しい、病気回復期にある乳幼児や小学生

※次の①、②を満たしていること

①体調が次の全てを満たしていること

(1)体温

- ・体温が37.5度以下に解熱している
- ・解熱剤を使わずに解熱して、24時間が経過している



(2)食欲

通常の半分程度の食事と水分の摂取が可能であり、脱水症状がない



(3)消化器症状

腹痛がなく、嘔吐や下痢(水様便)の症状が治まっている

(4)呼吸器症状

呼吸困難や異常呼吸が見られない



②医師連絡票の提出

医師の診察を受け、医師連絡票により病後児保育の利用が可能と判断されている



開始時期・実施場所など

開始時期 3月2日(日)～

実施場所 誓念寺中野こども園

開所日時 平日の午前8時30分～午後5時30分(電話対応は午前7時30分～)

対応スタッフ 看護師1人、保育士1人

定員 3人(先着)

利用方法

- ①子どもの体調を確認する ※確認項目は上の「対象児童」を参考にしてください
 - ②誓念寺中野こども園に連絡し、空き状況を確認
 - ③病院を受診し医師の診断を受け、病後児保育の利用に必要な医師連絡票を発行してもらう
 - ④医師連絡票が付いた利用申込書とその他必要な物を持って、誓念寺中野こども園に子どもを預ける
 - ⑤迎えの際に利用料を支払う(1日2000円/半日1000円)
- ※世帯第2子以降や多胎児、ひとり親世帯は無料で利用できません
- ☎ 制度について：こども支援課 (☎64・5140)、利用について：誓念寺中野こども園 (☎65・6166)

病児保育を利用したい時はどうしたらいいの？



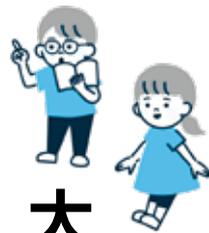
現に発熱していたり体調不良になっている子どもの預かり(病児保育)は、市外の施設を利用してください。

実施場所 ・ひかり病児保育園(勝山市元町1-9-45)

・福井愛育病院ちびっこハウス(福井市新保2丁目301) など

実施場所の一覧はこちら▶





大野の学生がふるさとを愛する心と魅力を発信

熱い！深い！あふれる ふるさと愛！

ふるさと福井CMコンテスト

小中学校では、ふるさとを愛する心を育むため、地域の自然や伝統、文化、歴史などをテーマに探究活動を行っています。今回、六つの小中学校がCMを制作し、県主催のコンテストに応募しました。大野の魅力が30秒に詰まっています。ホームページでは応募作品以外にも紹介しています。ぜひ見てください。

阪谷小学校

優秀賞

「のろうよーはびバス！阪谷へ！」子どもたちが考えた「ごかだにあおぞらバスツアー」で巡る名所を紹介します

有終西小学校

奨励賞

「最高の水をもとめて」お茶をたてる劇を通して、大野の名水のおいしさを紹介します

「大野ってどんなところ」

学校の近くにある亀山や御清水の魅力を紹介します

富田小学校

奨励賞

「越美北線で大野にいこっさー！」観光マイスターと観光客が越美北線に乗って旅をして、大野の魅力を紹介します

「富田にメロン星人がやってきた」

宇宙人が名水メロンを探しに学校に来るとい設定で、そのおいしさを紹介します

有終南小学校

「大野の色集め」

大野の水、山、雪といった自然の色を使って紹介します

「自然豊かながやく大野市」

亀山の頂上から見る景色と御清水を紹介します

陽明中学校

奨励賞

「これを食べて！大野のグルメ3選！」地元の食材を生かした魅力的な三つのグルメを紹介します

開成中学校

「大野の美味すぎる食べ物3選！」大野で味わえる三つの食べ物のおいしさを紹介します

「大野の良さを広め隊」

道の駅「越前おおの荒島の郷」のソフトリームのおいしさを紹介します

高校生も高等学校部門で受賞！

大野高校

優秀賞

「おおの音風景」

大野の風物詩を音や方言を使って紹介します

奨励賞

「その先を、いつまでも」

越前大野、九頭竜湖間の魅力を越美北線に乗っている臨場感とともに紹介します

奥越明成高校

奨励賞

「大野の自然」

川、大木、雪など、大野で楽しめる魅力を体験しながら紹介します

☎ 教育総務課 (0764) 4827



▲小中学校の作品について詳しくはこちら



▲高校の作品について詳しくはこちら

明日をひらく！プレゼンコンテスト

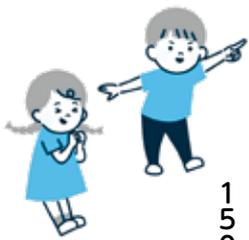
探究的活動で得た学びを5分間で発表するコンテストです。上庄小学校が一次審査を通過し、12月14日の本選に出場。見事小学校部門で最優秀賞(プレゼン大賞)を受賞しました。

上庄小学校6年生 チームMMZ

「上庄SDGsプロジェクト

地球を守る小さなヒーロー ミニズこみコンポスタの活動を通して





ふるさとの学び特別賞

ふるさと福井への誇りと愛着を育む教育活動が評価され、次の3校が受賞しました。地域と共に取り組んだ活動内容を紹介します。

また、優秀賞の上庄小学校と和泉小学校は、2月7日に県立大学で開催された「ふるさとの学びフェア」でステージ発表を行いました。

優秀賞 上庄小学校

・「上庄SDGsプロジェクト」
「地球を守る小さなヒーロー ミズごみコンポストの活動とその持続化」

・「上庄ニコニコひまわりプロジェクト」
「地球にやさしく一人にうれしく！ ひまわりでつながる上庄スマイル」

優秀賞 和泉小学校

「和泉 With ME!!」 「ふるさと和泉の力になりたい！元気づけたい！」

奨励賞 小山小学校

「小山小150プロジェクト」 「ありがとう小山小学校 ふるさとと共に150年」



▲詳しくはこちら



育てよう 大野っ子！ ～市学力調査から見た 大野っ子の姿～



調査の目的

市教育委員会では、「確かな学力を育む学校づくり」の推進に向けて、独自の学力調査を実施しています。児童一人一人の学力を確かめ、分析したデータに基づいて各校が授業の工夫や個に応じた指導をすることで、学力の向上を図っています。

また、調査結果を数年にわたり比較していくことで、子どもたちの成長や課題、学力の傾向を把握し、今後の指導に生かしていきます。

調査内容

実施日	学年	教科
12月3、4日	小学1～3年生	国語、算数
	小学4、6年生	国語、社会、算数、理科

※5年生は県が学力調査を行っています

調査から見た良好な点と今後の課題

教科	良好な点	今後の課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> 文章の内容を場面ごとに整理して読み取る 自分の考えを理由と共に簡潔に説明する 	<ul style="list-style-type: none"> 文章中の言葉のつながりを手掛かりに内容を読み深める 相手に伝わるように文の構成を整えて書く
社会	<ul style="list-style-type: none"> 地域の様子や歴史を資料から読み取る 調べた事実を基に、自分の考えをまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> 複数の資料を比べて共通点や違いを見つける 調べた内容を、根拠を示して説明する
算数	<ul style="list-style-type: none"> 図や表を使って数量の関係を読み取る 計算の意味を理解し、場面に合った方法を選ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> 問題文の条件を整理し、必要な情報を見つけ出す 自分の考えた解き方を、筋道を立てて説明する
理科	<ul style="list-style-type: none"> 観察や実験の結果から特徴を見つけてまとめる 現象の変化を比べて理由を考える 	<ul style="list-style-type: none"> 観察や実験の結果と自分の考えとを結び付けて説明する 予想と結果の違いに気付き、次の調べ方を考える